



# 愛腎協 かわらばん

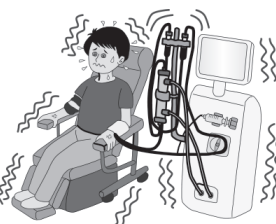
患者の、患者による、患者のための愛腎協

第 236 号 編集：(一社)愛知県腎臓病協議会事務局 発行：令和 7 年 5 月 10 日

## 2025 年度の愛腎協テーマは「災害に備えよう!!」

年々高齢化が進む透析患者の全国平均年齢がついに 70 歳となりました。一方で、2022 年末に 34 万 7,474 人であった全透析患者総数は、2023 年末の調査では 34 万 3,508 人となり、前年に比べ 3,966 人減少しました。すなわち、年間透析導入患者数は 2020 年から少しずつ減る傾向にあり喜ばしいことですが、高齢化に伴う死亡患者数は増えつつあります。当然といえば当然ですが、昨今の透析患者の死亡事例で目立つのが地震等による「災害関連死」なのだそう。大規模震災を無事乗り越えても、直後の 1 週間くらいは透析治療内容の変更や透析時間の短縮を余儀なくされ、避難所でのストレスも透析患者にとっては健常者の思いも及ばない苦難となりえます。

そこで愛腎協としては、2025 年度の活動のテーマに「災害に備えよう!!」を掲げてその都度関連情報を発信し、透析患者の防災・減災に役立てたいと思っています。透析患者・家族の皆さん、今年は普段より災害対策情報に積極的に耳目を傾けて過ごし、今から少しでも備えるように心がけてみましょう。



## 2025 年移植セミナーが豊橋市民病院で開催されました。

愛腎協東三河本部と豊橋市腎友会が共催する毎年恒例の「移植セミナー」が今年も 4 月 20 日(日)13 時 30 分から、豊橋市民病院 3 階講堂で約 50 人が参加して開催されました。

定刻、移植セミナーは、愛腎協東三河本部の喜多 募 本部長の開会挨拶に始まり、愛腎協の下前君夫副会長、来賓として根本幸典衆議院議員、丹羽洋章愛知県会議員、杉浦正和愛知県会議員が挨拶を述べた後、さっそく第 1 部講演会に移り、豊橋市民病院外科部長の長坂隆治医師



▲移植セミナーの様子

が①「移植医療の現状について」の演題で、2021 年をピークに透析患者数が減少傾向にあるが、高齢者 75 歳以上の患者数が激増している。腎移植は 70 歳以上の透析患者さんには難しい等々と語り、また②「ウイルス感染症を考える part4」の演題では、現状はインフルエンザと新型コロナウイルス感染が目立つ。帯状疱疹に注意が必要で、ヘルペスウイルスの種類と特徴等々について講演されました。

続いて「移植腎機能が悪くなってしまったら」の演題で、豊橋市民病院の森田彰枝・慢性腎臓病療養指導看護師が講演し、腎移植を受けると健常者と変わらない生活を送れるのか、移植腎を守るためにすべき事、腎臓からの SOS を見逃さないで等々、語られました。

最後に「どうする？ あなた、それでも移植をうけますか？」の演題で、移植レシピエント・コーディネーターの上村恵子看護師が、ドナーのリスク。手術直後は、ドナーの方が辛い。移植はゴールでは無くこれからが戦いの始まり。薬を忘れずに飲む事。食事に気を配る事。自分の身体は自分で管理が重要だと話されました。

第 2 部として、生体腎移植ドナーさんとの討論会が行なわれ、各パネラーから生体腎移植に至った経緯、現在の健康状態、レシピエントさんに手術後どうなってほしかったか、手術後、二人の関係は変わったか、腎臓を提供して後悔はないか、医療者に望む事等々、闊達な質疑応答がなされ大変有意義に終了しました。(移植セミナーの詳細は道標 133 号で詳報予定)

## 2025 年地域腎友会交流会が開催されました。

令和7年度の「地域腎友会交流会」が4月27日(日)の午後、愛知県白壁庁舎5階県会議室で久方ぶりに開催された。愛腎協の各本部傘下には12の地域腎友会が設立されていますが、その内9つの組織が参加しました。



▲地域腎友会交流会の様子

新型コロナ感染拡大で活動停止を余儀なくされていた各地域腎友会であるが、現状、コロナ感染とインフルエンザ感染に注意しながらも地域に密着した活動

の再開に向けて、愛腎協執行部からの呼びかけがなされた。特に、コロナ禍にあっても着実に活動を続けてきた名古屋市腎友会の活動に倣って、一般市町村民に向けてのCKD講演会の開催や透析患者が抱える課題について市町村への要望活動の窓口としての役割の重要性について情報の共有がなされ、各地域での運動推進へ向けて有意義な交流会となった。愛腎協としても今後、地域腎友会へのバックアップを強力に行っていくことが示され、各本部の一層の協力が約束された。

## 第53回増子記念病院人工腎臓友の会(増子腎友会)主催・総会と講演会実施。

4月27日(日)10時からフジコミュニティーセンターで、医療法人衆済会・増子記念病院理事長・院長の両角國男先生の「透析治療を知る、未来に向けて」講演会開催されました。増子腎友会の総会での講演会設定は、かなり久しぶりかつ、1時間30分と長時間の講演で、透析治療の黎明期から現在、これからの展望と、多岐にわたるお話しでした。

増子記念病院の歴史の中で、患者会も53年目を迎えました。患者会のますますの活動に努めなければと、あらためて思いました。(鬼頭広報委員)



▲講演をする両角先生



▲増子腎友会総会&講演会に参加した皆さん

## 2025 年度第1回青年部会議

4月13日(日)午前、愛知県白壁庁舎2階ボランティア会議室で2025年度「第1回青年部会議」が行なわれました。今年度の青年部会議の予定確認と9月21日開催予定の講演会「仕事をしながら安心して透析するために」の準備について話し合われました。



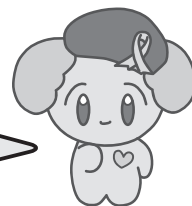
▲青年部会議の様子

## 2025 年度第1回女性部会議

4月13日(日)午後、愛知県白壁庁舎5階県会議室で2025年度の「第1回女性部会議」が行なわれ、今年11月もしくは12月に第6回女性セミナーを西三河方面で開催したい等、話し合われました。

## ♥「青い鳥郵便はがき」の受付機関 ♥

2025年4月1日(火)から6月2日(月)まで  
(お使いにならない方は愛腎協へご寄付をお願いいたします)



### 活動予定

- ◎5月18日(日) 第1回東尾張本部会議(10時~正午 尾張旭市渋川福祉センター)
- ◎5月18日(日) NPO 法人名古屋市腎友会第23回総会 & 勉強会  
(10時~11時50分 名古屋都市センター14階 特別会議室)
- ◎5月19日(月) 愛知腎臓財団意見交換会(メルパルク名古屋)
- ◎5月25日(日) 第1回理事会・本部長会議(10時~16時 愛知県白壁庁舎5階県会議室)
- ◎6月1日(日) 尾張本部代議員総会(10時~正午 江南市布袋ふれあい会館)
- ◎6月1日(日) 第1回西三河本部会議 & 懇親会(10時~正午 安城総合福祉センター)
- ◎6月15日(日) 第1回広報委員会(10時~正午 名古屋都市センター14階 第5会議室)